

Stage 3 Gingerbread Micro-man(ジンジャーブレッド・マイクロマン)

作・ダニー・ウォッデル

絵・ジョン・スチュアート

< 読むまえに >

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんとお話ししましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんとお話ししましょう。
- ・このお話にはだれが出てくるでしょう？
- ・これらの登場人物のでてくる話をまえに読んだことがありますか。
- ・登場人物についてどんなことを知っていますか。

< 読んでいるときに >

自分にあったスピードで読めばいいのだと、お子さんにいってあげましょう。

読みながら単語を指さしてみようと、お子さんに提案してください。

お子さんがつかえたときは、次のようなやり方でお子さんを助けてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・ここにはどんなことばが合うかな？
- ・絵を見るとわかるよ。

< ひっかかることば >

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

gingerbread ジンジャーブレッド

raisins 干しぶどう

bird 鳥

catch つかまえる

trick だます

tray おぼん

[p. 2]

お話にでてくるひと

マックス

タイガー

ママ

鳥

[p. 3]

ママはジンジャーブレッドマンを作っていました。

[p. 4]

マックスとタイガーは遊んでいました。

そのとき、タイガーはサッカーボールをなくしました。

[p. 5]

ママは、おとなりにレーズンをもらいに行きました。
タイガーは、ある考えを思いつきました。

[p. 6]

マックスとタイガーは、家の中に入りました。
ふたりはボタンを押して……

[p. 7]

ふたりは、サッカーをしました。

[p. 8]

そのとき、ママが帰ってきました！
マックスとタイガーは、かくれました。

[p. 9]

タイガーは、ママにいたずらをしかけました。

[p. 10]

ママは、トレーをとりました。
ママは、タイガーに気がつきません。
「たすけて！」
「にげる、全速力でにげる！」

[p. 11]

タイガーは、トレーから飛びおりました。
そして、外へ走ってにげました。
「ぼくはつかまらないぞ！」

[p. 12]

鳥がタイガーを見ました。
「ぼくはつかまられないぞ！」

[p. 13]

そのとき、マックスがきました。
「にげる、全速力でにげる！」

[p. 14]

ふたりは、ボタンを押して……
それからふたりは、家の中に入りました。

[p. 15]

「さあ、どうぞ」、ママが言いました。
「ぼく、いらない！」 タイガーが言いました。

[p. 17]

ジンジャーブレッドマンの作り方

混ぜる

伸ばす

切る

飾りつける

焼く

食べる(ジンジャーブレッドマンが逃げだすまえに)!

< 読んだあとで >

読んだあとに、この本についてお子さんと話しましょう。

こんな質問をしてみましょう:

- ・まえにジンジャーブレッドマンのお話を聞いたことある?
- ・どうしてタイガーは小さくなりたいと思ったんだろう?
- ・この本読んでおもしろかったところはどこ?
- ・この本を読んでどんな気分になった?

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、すらすら読めるようになります。

< 他にすること >

この本のことをくりかえし話題にしましょう。

自分たちでジンジャーブレッドマンを作ってもいいですね。